

社会資本整備審議会 道路分科会
令和3年度 第3回中部地方小委員会

1. 日 時 令和4年3月10日（木）10:00～11:00
2. 場 所 名古屋合同庁舎第2号館 3階共用大会議室
3. 出席者委員
加藤 義人 岐阜大学工学部 客員教授
◎倉内 文孝 岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授
栗原 大介 （一社）中部経済連合会 常務理事
佐藤 久美 名古屋国際工科専門職大学工科学部 教授
水尾 衣里 名城大学人間学部人間学研究科 教授
山田 恵里 名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部 講師
※敬称略、五十音順 ◎は委員長
4. 議 事
令和4年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価
・一般国道1号 浜松バイパス（長鶴～中田島）

<委員からの主な意見>

【一般国道1号 浜松バイパス（長鶴～中田島）】

- ・浜松バイパスは、生産性の向上に資するだけでなく、沿線企業のBCP遂行の観点からも、重要な道路であり、早期に整備すべき。
- ・立体化区間では地域交通と通過交通を分けることができ、また、渋滞、事故の削減にも繋がることから、浜松バイパスの整備は重要である。
- ・道路整備の重要性、効果を地域の方々にしっかり広報していただきたい。

<結論>

- ・一般国道1号 浜松バイパス（長鶴～中田島）
の新規事業化については妥当である。

